

主催：東北大学知識行動オープン・プラットフォーム SOKAP-Seeds

「サステナブルな日本型吊りシステムの構想に向けた基礎研究」

第1回 吊りと建築研究会

# 吊る巨大仏

納骨空間のデザインとランドマーク

運営

美術

継承

祈り

構造

供養

観光

社会

責任

設計

把握

開発

整備

2025年2月28日(金)

13:00-16:50

会場

東北大学川内南キャンパス文学研究科棟2階 大会議室

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/areac.html>

お申込み

2025年2月21日(金) 締切

事前登録制。右記フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/Ee6zQAwbSrogIDQK7>

開催形式

ハイブリッド(対面参加は50名まで)

参加費

無料

お問い合わせ

[jinsha2024@grp.tohoku.ac.jp](mailto:jinsha2024@grp.tohoku.ac.jp)





## 開催趣旨

人を葬り弔うために、どのような空間・モニュメント・建築物が設えられてきたのだろうか。その背景には何があるのか。今回は、特にバブル期前後に複数設立された「巨大仏のある霊園・納骨堂」についての知見を有する宗教学者を招き、建築学の視点をクロスさせて、多角的な議論を期したい。

## プログラム

- 13:00 問芝志保（東北大学） 「開催趣旨 なぜ巨大仏なのか  
—墓制研究における付置」
- 13:20 君島彩子（和光大学） 「近現代の大観音像における慰霊と娯楽」
- 14:20 休憩
- 14:30 鈴木正崇（慶應義塾大学） 「巨大涅槃像と納骨堂—篠栗霊場南蔵院」
- 15:30 五十嵐太郎（東北大学） 「コメント—建築学の視点から」
- 15:50 山中弘（筑波大学） ディスカッション コメント
- 16:00 全体討議
- 16:50 終了 ※18:00 より意見交換会を予定

### 問芝志保

東北大学大学院 文学研究科 准教授

筑波大学大学院人文社会科学研究科一貫制博士課程修了。博士（文学）。日本学術振興会特別研究員 DC・PD、公益財団法人国際宗教研究所研究員、國學院大學日本文化研究所 PD 研究員、大学非常勤講師等を経て、2022 年 4 月より現職。

### 君島彩子

和光大学 表現学部 芸術学科 講師

総合研究大学院大学文化科学研究科博士後期課程修了。博士（学術）。駒澤大学仏教経済研究所研究員、国際日本文化研究センター 博士研究員、日本学術振興会特別研究員、東北大学非常勤講師等を経て、2023 年 4 月より現職。

### 鈴木正崇

慶應義塾大学 名誉教授

慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士。慶應義塾大学文学部教授、貴州省社会科学院客座研究員（中国）、フランス国立極東学院共同研究員、日本山岳修験学会会長等を経て、2015 年 4 月より現職。

### 五十嵐太郎

東北大学大学院 工学研究科・工学部 教授

東京大学工学系大学院建築学専攻修士課程修了。博士（工学）。中部大学工学部建築学科助教授、東北大学大学院工学研究科・工学部准教授等を経て、2009 年 4 月より現職。

### 山中弘

筑波大学特命教授（名誉教授）

筑波大学大学院哲学・思想研究科博士課程修了。文学博士。筑波大学大学院人文社会科学研究科教授、國學院大學研究開発推進機構客員教授、日本宗教学会会長等を経て、2019 年 4 月より現職。

